

委員会で詳しく審査しました

～令和6年第3回定例会中に審査した内容は下記のとおりです～



総務委員会

議案3件を審査しました。
稲城市個人番号及び特定個人情報に関する条例の一部を改正する条例は、1件の質疑があり、概要は次のとおりです。

問 生活保護法改正に伴い進学準備給付金が進学・就職準備給付金に変わること、制度運用がどう変わるのか。
答 被保護者の18歳に達する日以後の最初の3月31日までにある方が、安定した職業に確実に就くと見込まれるときに給付金を支払うことで、給付金対象者が拡大された。討論はなく、採決の結果、起立全員により原案のとおり可決されました。

問 稲城市職員定数条例の一部を改正する条例は、3件の質疑があり、概要は次のとおりです。
問 定年が延長された消防職員について、増員する理由は。
答 複雑、激甚化する災害に対応できる消防力を維持するため、定年延長職員の豊富な知識、経験、技術を發揮していくことが不可欠である。3部制当番勤務に指揮隊と通信員で各部2人、毎日勤務の防災指導員3人を配置する。

問 今の施設で対応できるか。
答 仮眠室、事務スペースなどについては、支障はない。討論はなく、採決の結果、起立全員により原案のとおり可決されました。

問 稲城市火災予防条例の一部を改正する条例は、質疑・討論がなく、採決の結果、起立全員により原案のとおり可決されました。

福祉文教委員会

議案1件を審査しました。
損害賠償の額を定めることについては、4件の質疑があり、概要は次のとおりです。

問 治療するまでの間の生徒を支援するための対応と再発防止策は。
答 オンライン授業の実施や、教員全体に生徒の状況を共有し、学校として、できる限りの対応を行った。L字型のドレーンケットを空調室内機に取り付け、水漏れが発生しない対応を行った。また、日常的な点検を確実に実施する。

問 賠償額の内訳と今後の手続きは。
答 治療関係費が59万2378円、慰謝料が100万1820円、健康保険の保険者へ185万221円。速やかに示談書を取り交わし、できる限り期間を詰めて対応していきたい。

問 部品の不具合について、メーカーに過失はないのか。
答 空調室内機の水抜き部分を接続するゴム製のドレーンケットが経年劣化により変形などが生じ、水漏れが発生したと考えており、空調室内機を設置した市の過失と認識している。

問 水漏れがあったことを事前に認識できていたのか。
答 事故発生のおよそ20分前には水がなかった。体育館のキャットウォーク内に水がある程度たまった段階で、一気に体育館の床に水漏れが発生したという状況である。討論はなく、採決の結果、起立全員により原案のとおり可決されました。

討論はなく、採決の結果、起立全員により原案のとおり可決されました。

建設環境委員会

議案1件を審査しました。
稲城市国民健康保険条例の一部を改正する条例は、質疑がなく、1件の討論があり、概要は次のとおりです。

反対討論 マイナ保険証の一体化、健康保険証の廃止に反対し、住民の医療を受ける権利をこれまでどおり保障するため、反対する。

採決の結果、起立多数により原案のとおり可決されました。

補正予算特別委員会

議案3件を審査しました。

令和6年度東京都稲城市一般会計補正予算(第3号)は、16件の質疑があり、概要は次のとおりです。

問 財政調整基金繰入金について、減額予算の概要は。
答 吉方公園改修整備事業に都補助金が見込まれることによるマイナス、ホームタウン支援推進事業として野球を通じた地域振興に取り組みするためのプラス、補正予算全体における財源調整のプラスを合算した結果、マイナス318万4000円となった。

問 公共施設整備基金積立金の内容と利用の考えは。
答 公共施設の駐車場の収益分を今後の駐車場整備の財源とするため、積み立てている。今後は、駐車場の改修などに活用していく。

問 臨時財政対策債がマイナストとなった理由は。
答 基準財政需要額から基準財政収入額を差し引いた財源不足額が減ったことに加え、国税5税の収入が堅調で、臨時財政対策債に振り替えられる割合が減少したと考えられる。

問 株式会社などの譲渡所得や配当所得に係る税額更正による市税過誤納還付金の概要は。
答 証券会社で住民税を特別徴収されている納税者が確定申告を行い、損失と利益を相殺している場合、納付すべき住民税がなくなるため、差額を還付する。

問 戸籍電算システム改修委託の概要と市の職員への影響は。
答 戸籍の氏名にふりがなを記載する準備のためにシステムを改修する。8万件以上、仮のふりがなの通知を送る作業があり、その後、届出の受付、システム入力、審査する作業などを見込んでいます。

問 令和5年度の10月以降に受領した寄附金を令和6年度に繰り越して、1のまち稲城応援寄附金、ホタル育成事業指定寄附金、また、都市農業推進事業指定寄附金を積み立てている。
問 地域包括支援センターことうようたい受託事業者地域貢献事業支援補助金の目的と期待される効果は。
答 銀行だったスペースを地域に提供し、地域の方々に使っていただく地域貢献を支援していくことが目的である。高齢者だけでなく、様々な方々が自由に入出入りして、情報交換や助け合いをする拠点になることを期待している。

問 児童手当の制度改正の概要と新たに対象となる児童数の想定は。
答 支給対象児童について、中学生までが高校生年代までに拡大され、所得制限が撤廃される他、多子加算が拡大されること、また、支払いは年3回から年6回となる。対象を高校生年代までに拡大することによる新規対象児童数は2764人、所得制限廃止による新規対象児童数は1085人と想定している。

問 地域包括支援センターことうようたい受託事業者地域貢献事業について、都の補助金を確保する決め手になったことについてと地域への周知方法は。
答 銀行の無人化に伴うスペースに地域包括支援センターが入っていること、1年目、2年目とアイデアを計画的に出したこと、住民同士の助け合いや情報提供の拠点になることが評価されたと判断している。第二層協議体での情報提供の機会やコンサルタンのアイデアを借りながら、様々な方法で周知に努める。

問 地域包括支援センターことうようたい受託事業者地域貢献事業支援補助金について、ことうようたい受託事業者と決めているところについては。
答 地域包括支援センターことうようたいの受託事業者は、空いたスペースを使って地域包括支援センターの事業以外の仕事をやってくださるということで、支援する予算を計上している。

問 児童扶養手当について、制度改正の内容と今後のスケジュールは。
答 制度改正の1点目は第3子以降の加算額の引上げで、2点目は所得制限額の引上げである。11月上旬に手当額の決定通知を発送し、改正後の最初の手当は、11月・12月分を令和7年1月に支払う。

問 地域包括支援センターことうようたい受託事業者地域貢献事業支援補助金の補正予算額の内訳とコンサルティング業者に期待する点は。
答 相談、打合せスペースの増設、だれでもトイレの設置などに約2700万円、コンサルタントに約700万円、地域交流スペースの物件費として約500万円、事業費や備品の購入で約1000万円を計上している。福祉環境の充実を狙い、運営のノウハウを取得するために、コンサルタントの導入を図る。

問 地域包括支援センターことうようたい受託事業者地域貢献事業支援補助金について、補助率と期間は。
答 3か年の計画書を出し、内示を受けており、補助率は全て10分の10で、この事業に係る経費に一般財源の持ち出しはない。

問 ホームタウン支援推進事業のスポーツ指導等委託について、募集の対象と怪我などの対応は。
答 ジャイアンツアカデミー指導者による市立中学校野球指導は、市内6校の主に野球部員を対象として、個人申込みとなる。市内野球指導者向けの実務講習とスポーツ指導者向けセミナーは、大人の指導者を対象としている。怪我などは、保険により対応する。

問 緑と環境課の子供・長寿・居場所区市町村包括補助事業補助金について、都に対してどのような企画提案をし、どの区分で採用されているのか。
答 誰もが遊べる公園として、ユニバーサルデザインを基本とした公園造りを進め、インクルーシブ公園を整備したいという事業申請をした。採択の区分は、チルドレンである。



▲補正予算特別委員会

討論はなく、採決の結果、起立全員により原案のとおり可決されました。